

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

第65号

令和元年11月1日発行
豊後大野市議会

声のかけ橋

平成30年度決算を認定 10

6名の議員が市政を問う 13

議会報告会案内 22

キラリ★ひと言 24



犬飼小学校運動会

令和元年第3回定例会

(会期 8月30日～9月27日)

8月30日から第3回定例会が開かれました。

今定例会では、報告3件、認定11件、諮問4件、20議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。

9月6日と9日の2日間にわたり、行われた一般質問には、6人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。(13～19ページ参照)

また、各常任委員会では、付託議案の審査の他、事業評価を実施しました。

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

5億7301万5千円



《一般会計予算総額》

297億611万5千円

補正予算の一部を紹介

森林経営管理事業

3843万6千円追加



未整備森林の整備を促進し、健全な育成と公益的機能の増進を図り地域林業の振興を図るもの。

浄化槽設置整備事業

7286万8千円追加

単独処理浄化槽やくみ取り便槽からの転換に係る補助事業申請件数増に伴うもの。

企業誘致推進事業

4925万9千円追加

新規進出企業に対する助成金の交付に伴うもの。

急傾斜地崩壊対策事業

2145万円追加

急傾斜地崩壊対策事業費の増額補正によるもの。

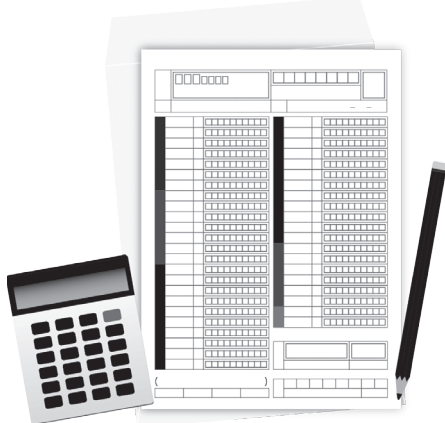
市道維持管理事業

1億5千万円追加

地元要望による市道維持補修工事費の増額補正によるもの。

豊後大野市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について

市民税法人税割の税率変更



市民税法人税割の税率について、「働く場の確保」「子育て支援の充実」「学校教育の充実」を図るための財源を確保するため、標準税率(9.7%)の引き下げにあわせ、本市において適用する税率を制限税率(8.4%)に変更するものです。

豊後大野市リバーパーク犬飼条例の一部改正について

リバーパーク犬飼の使用料等の改定

リバーパーク犬飼施設改修工事完了後に、おける当該施設の使用料等の改定を行い、機能を充実させ、効果的に活用することで、本市の観光振興を図るものです。



改修中のリバーパーク犬飼

市道路線の認定について

道路法の規定により、市道2路線を新たに認定するものです。
各路線の認定理由は下記のとおりです。

「^{なかえ}中江2号線」は中九州横断道路大野竹田道路の工事用道路として整備された路線を新たに市道として認定するものです。

「^{くわさこ}桑迫・^{つる}津留2号線」は、県道緒方大野線の改良事業の実施に伴い、大分県より移管を受けた旧道部分を新たに市道として認定するものです。

住民票への旧氏きゅううじ（旧姓）の記載

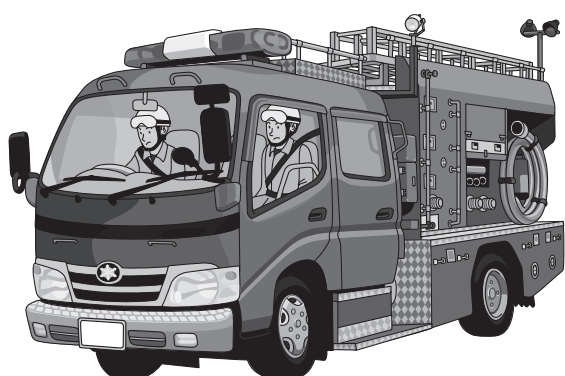
住民基本台帳法施行令の一部改正により住民票への旧氏きゅううじ（旧姓）の記載に関する事項が定められたことに伴い、本条例の一部を改正するものです。様々な場面で旧姓を使用しやすくするためのものです。

就職・転職時など、仕事の場面でも旧姓で本人確認ができます!!



財産の取得について

消防ポンプ車を購入



豊後大野市消防団では、購入から18年経過を目安に車両の更新を行っており、緊急時の確実な出動体制の確立と、地域の消防防災活動の推進を図るため、消防ポンプ自動車の更新をするものです。

購入物件	消防ポンプ自動車2台
契約の相手方	新日本消防設備株式会社
購入金額	37,180,000 円

財産の無償譲渡について

旧千歳高齢者生活福祉センター創寿苑を無償譲渡



旧千歳高齢者生活福祉センター創寿苑

地域経済の活性化と雇用機会の拡大を目的に利用事業者を募集したところ、障がい者就労継続支援施設等として活用したいと応募があり選定委員会で決定したので無償で譲渡するものです。

相手方	NPO法人 福和会
理事長	都築 克宜

奨学金の「給付・貸付制度」から「返還支援制度」への移行



三重総合高校

奨 学金の返還を支援することにより、安心して教育を受けることのできる環境をつくるとともに、豊後大野市への若者の移住・定住及び地元就業の促進を図り、もって活力ある豊後大野市を目指すことを目的とするものです。

奨学金給付・貸付制度【現行】

◆奨学金・入学準備金貸付制度（平成23年4月1日施行）

三重総合高校生徒の修学・就学を支援するため、在学または進学する本市在住の生徒に対し、奨学金（月額1万2千円）及び入学準備金（15万円を限度）を無利子で貸し付けるもの。

◆特別奨学金給付制度（平成28年4月1日施行）

三重総合高校に進学し大学進学を目指す生徒に対し、一定の条件を定め奨学金（月額3万円）を給付するもの。



奨学金返還支援制度【新制度】

1. 目的

奨学金の返還を支援することにより、安心して教育を受けることのできる環境をつくるとともに、豊後大野市への若者の移住定住及び地元就職の促進を図り、もって活力ある豊後大野市を目指す。

2. 補助内容

- (1) 補助率 2／3
- (2) 補助額 交付申請年度の前年度奨学金返済額×2／3（上限20万円）
- (3) 補助期間 5年間（最大1人100万円）

委員会審査報告

主な議案の審査経過を報告します

総務 常任委員会

●豊後大野市税条例等の一部を改正する条例の一部改正

令和元年10月1日以降に開始する事業年度に係る市民税法人税割の税率を、現在の標準税率の9・7%から制限税率8・4%に適用することとしたので本条例の一部改正をするものです。

●財産の無償譲渡

旧千歳高齢者生活福祉センター創寿苑、旧千歳在宅介護支援センター及び車庫をNPO法人福和会に無償譲渡するものです。

問 建物は無償譲渡だが、土地については有償貸付ではなく売却とした理由はなぜか。

答 有償貸付であると、将来にわたって責任ある施設の維持管理が必要になります。また、建物として価格あるものを無償譲渡するという意味で、土地については市民皆さまにご理解いただくためには、公正な価格で売却するのが正当であろうと考えております。

問 これで確保された財源は特定の目的に使用されるのか。

答 提案理由には基本施策掲げており、こういったものに充当するかはこれからになります。

〔付託議案の審査結果〕

議案6件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

厚生文教 常任委員会

●豊後大野市奨学金返還支援基金条例の制定

奨学金の返還を支援することにより、安心して教育を受けることのできる環境をつくるとともに、豊後大野市への若者の移住・定住及び地元就業の促進を図り、もって活力ある豊後大野市を目指すことを目的として条例を制定するものです。

問 三重総合高校の支援対策の移行というが、移行する部分は何もないのではないか。

答 今までの制度が、そのまま移行して、三重総合高校に役立つかといえ、直接つながるものではないと思います。しかし、安心して働ける環境づくりという意味では、安心して高校で学べる支援にはつながると思います。

〔付託議案の審査結果〕

議案8件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

●令和元年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入の県支出金につきまして、新たに電算システムの業務委託料についての県支出金があります。

繰入金について、前年度からの繰越金が確定したので、基金からの繰入金はもう必要ないと判断して減額し、繰越金も計上しています。

歳出については、電算システムの業務委託料、共同電算の特別業務委託料基金への積立金、保護給付費等交付金返還金、そして諸支出金の一般会計の繰出金ということで、3億円の一般会計への繰り出しを計上しています。

問 基金の額は、どのくらい必要だと考えているのか。

答 過去、基金が5億円から2400万円まで急激に減少したという状況がありましたので、こちらとしては、5億円が基本的な安全圏と想定しています。

産業建設 常任委員会

●豊後大野市リバーパーク犬飼条 例の一部改正

現在リバーパーク犬飼施設の改修工事実施中で、改修工事完了後における当該施設の使用料等の改定を行い、及び機能を充実させ、効果的に活用することで、本市の観光振興を図りたいので本条例の一部改正をするものです。

問 トイレは既存のままで大丈夫か。

答 既存のトイレが男女とも設置数で基準を満たしているので、予算の関係上新設はしません。

●令和元年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4525万3千円とするものです。歳出は、維持管理費の修繕料を100万円増額補正するものです。歳入は、前年度繰越金が434万3千円に確定したことにより、384万3千円を増額補正するものです。

問 修繕料を当初予算で見込めなかったのか。

答 当初予算では想定できなかった馬場処理場のスクリーンユニットなどの修繕が発生したため、今回の補正で計上しています。

【付託議案の審査結果】

議案5件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

人権擁護委員候補者の推薦

令和元年12月31日で任期満了となる現委員（4名）の後任候補者として推薦されます。

あべ さちよ
安部 幸代氏（再任）
【三重町】

いたい りょういち
板井 亮一氏（再任）
【大野町】

うちの たかふみ
内野 貴文氏
【三重町】

あだち かんじ
足立 完治氏
【犬飼町】

人事案件

同意

任期 自：令和2年1月1日
至：令和4年12月31日

事務事業評価を実施

各 常任委員会で昨年度の事業の中から2～3事業ずつ選定し、3日間にわたり、事務事業評価を実施しました。はじめに委員個人ごとに事業結果に対する評価と今後の方向性を評価した上で、委員間で討議し、委員会としての評価を決定しました。

評価結果を執行部に伝えることで、今後の業務改善や予算確保などにつながっていくことが期待されます。



事務事業評価の流れ

【1日目】
対象事業の説明

執行部から事業説明を受け、質疑応答。

● 評価シートを作成

委員ごとに評価。

【2日目】

● 評価シートに基づき自由討議

委員の評価に基づき、委員相互に意見を出し合い議論。

● 委員会の合意形成

委員会としての評価を出すため、委員間での合意形成を図り評価を決定。

【3日目】

● 評価報告書作成

委員会としての評価結果の報告書を作成。

【本会議終了後】

● 評価報告書を市長に送付。

【来年2月（予定）】

● 評価結果の反映状況を執行部が議会に報告。

総務常任委員会

◆【調査事業】

地域公共交通活性化事業

【事業の目的（抜粋）】

コミュニティバス及びあいのりタクシーを運行することにより、高齢者等の交通手段を確保し、地域公共交通の利便性の向上を図る。

【事業結果に対する評価】

おおむね適正

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

引き続き、市民の要望に応え、実証運行を行って路線の分析を行い、利用増につなげていってほしい。

地域公共交通網形成計画に基づき対応していただきたい。

市民の利用を促進するために、情報発信に力を入れていただきたい。



◆【調査事業】

定住促進空き家対策事業

【事業の目的（抜粋）】

空き家等を有効活用し、定住促進による集落の維持を図るとともに、移住に要する経費の一部を助成することにより、人口の増加、地域の活性化等に資することを目的とする。

【事業結果に対する評価】

おおむね適正

【事業の今後の方向性】

改善

【提言など（抜粋）】

移住した方が安心して本市になじんでもらえるように、例えば、相談対応をする移住支援員を配置するなど、移住後の支援を充実させること。

引き続き、盆などの帰省時期等を利用して相談会を行うなどして、空き家物件の掘り起こしに力を入れること。

物件に対する情報と併せて豊後大野市の魅力を更に広く発信していただきたい。

厚生文教常任委員会

◆【調査事業】

周産期保健事業

【事業の目的（抜粋）】

周産期を契機として、子育てに関する不安及び経済負担の軽減を図ること、安心して産み育てられる環境づくりを推進する。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

拡充

【提言など（抜粋）】

安心して産み育てられる環境づくりは、少子化対策の観点からも非常に重要であり、更なる充実を期待することから事業の今後の方向性は拡充とし、特に以下の点を求める。

不妊治療費の助成について、希望する者に対しては、5年度を超える支援や更なる助成金の充実を検討すること。

歯科衛生士や保健師への業務的負担が、過度にならないよう、業務分担の見直しや増員を検討すること。



◆【調査事業】

事務局運営事業

【事業の目的（抜粋）】

教育委員会事務局が管理・運営を行うことで、教育行政の総括的な事務事業の円滑な推進を行う。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

事務局運営事業は、教育行政の運営に必須な事業であること。また、三重総合高校が、素晴らしい成果をあげていることなどから事業の今後の方向性は継続とするが、特に以下の点について求める。

三重総合高校の活躍について、もっと広く市民へ広報すること。

「三重総合高校の明日を拓く会」への補助金については、十分に事業実施できるよう支援するとともに、必要があれば交付方法の見直しを図ること。

市内唯一の高校である三重総合高校存続のためにも、三重総合高校のための純粋かつ新たな支援策を導入するよう強く求める。

産業建設常任委員会

◆【調査事業】

戦略品目産地化プロジェクト支援事業

【事業の目的（抜粋）】

戦略・重点品目の重点的な取り組みにより、産地拡大、技術向上、生産性向上、生産者の経営安定に繋げるとともに、「大分の野菜畑 豊後大野」としての地位確立を図る。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

高齢化や人口減少が進む中、新規就農者が本事業に対しての理解を深めることに努めること。

予算の見直し（増額等）を行い、対象者の要望に対して取り組みの強化が必要である。

農業経営、規模拡大する上でも良好な事業であり、要件緩和も含め今後継続すべきである。

◆【調査事業】

市営住宅整備事業

【事業の目的（抜粋）】

老朽化した市営住宅の整備方針を決定し、計画的に事業を行うことで、快適な住環境を提供するとともに、財政負担の軽減を図っている。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

長寿命化計画で用途廃止となった市営住宅を計画的に廃止し、入居者の転居などをすすめること。

老朽化した住宅の修繕に必要な予算の確保に努めること。

高齢者、障がい者、若い世代に配慮した住環境整備をすすめること。

建て替えにあたっては遅滞なく行い、定住促進を進める上においても戸建てを中心としたものとする。



平成30年度 決算 認定

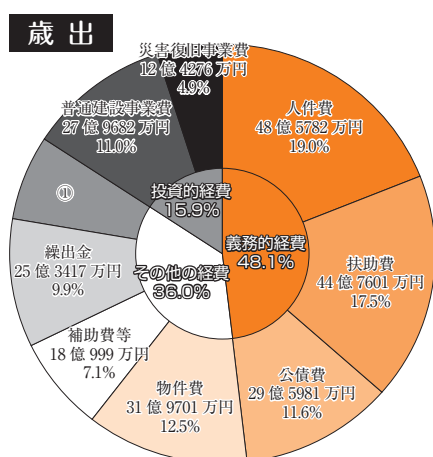
一般会計 歳出決算は前年度に比べ 5億7611万4千円増加



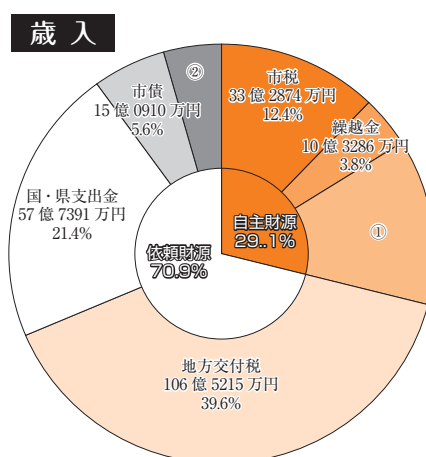
決算特別委員会（宮成昭義委員長）が、9月20日と24日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月27日の本会議で採決の結果、認定されました。

《一般会計決算の内訳》



①その他の経費
16億5773万円(6.5%)
【内訳】
◆維持補修費
1億2805万円(0.5%)
◆積立金
14億7363万円(5.8%)
◆投資・出資金・貸付金
5605万円(0.2%)

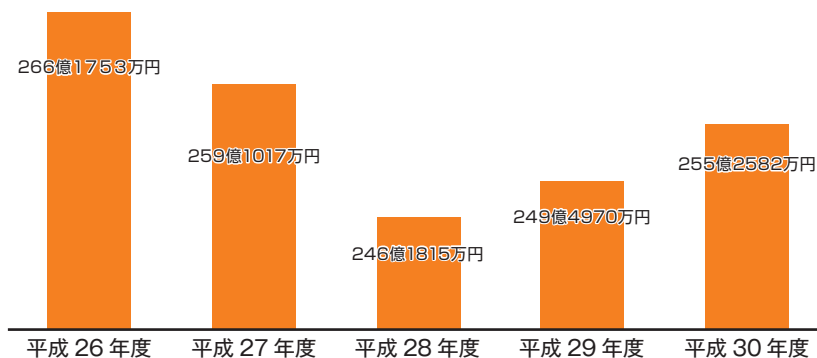


①その自主財源
34億4587万円(12.9%)
【内訳】
◆分担金及び負担金
4億0501万円(1.5%)
◆使用料及び手数料
4億7889万円(1.8%)
◆財産収入
8344万円(0.3%)
◆寄附金
9257万円(0.4%)
◆繰入金
21億6969万円(8.1%)
◆諸収入
2億1628万円(0.8%)
②その他依存財源
11億4968万円(4.3%)
【内訳】
◆地方譲与税
3億5870万円(1.3%)
◆地方交付金
7億9098万円(3.0%)

合計 255億2582万円

合計 268億9232万円

5年間の一般会計歳出決算の推移



※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。

《各会計の決算状況》

会 計 名			歳 入	歳入前年度比	歳 出	歳出前年度比
一般会計			268億9231万8千円	+2億1816万7千円	255億2581万7千円	+5億7611万4千円
特別 会 計	国民健康保険	53億9347万3千円	-7億1073万7千円	49億1092万3千円	-7億3626万2千円	
	後期高齢者医療	5億7165万1千円	+90万9千円	5億6858万5千円	+110万6千円	
	介護保険	64億5842万8千円	-3138万9千円	64億1430万2千円	+4028万1千円	
	農業集落排水	2億1644万3千円	-2035万4千円	1億9420万1千円	-2058万9千円	
	公共下水道	9024万9千円	+322万9千円	7544万円	-288万1千円	
	浄化槽施設	4857万8千円	+222万6千円	4423万5千円	+97万7千円	
	簡易水道	2億3709万5千円	-1億1449万3千円	2億98万円	-1億1419万5千円	
	太陽光発電事業	1億2525万8千円	-2595万3千円	1億1449万2千円	-1713万7千円	
	計	131億4117万5千円	-8億9656万2千円	125億2315万8千円	-8億4870万円	
合 計			400億3349万3千円	-6億7839万5千円	380億4897万5千円	-2億7258万6千円

会 計 名			歳 入	歳入前年度比	歳 出	歳出前年度比
企業 合計	上水道	収益の収支	3億2525万円	+4422万9千円	3億6429万円	+9593万9千円
		資本の収支	1678万7千円	+1233万3千円	1億43万9千円	+2862万円
	病院事業	収益の収支	35億5622万8千円	+4073万8千円	37億473万7千円	-2811万3千円
		資本の収支	8845万2千円	+3477万4千円	3億3414万5千円	+3668万2千円

地方債（借金）

一般会計・特別会計

会 計 名		29 年度末残高	30 年度末残高
一般会計		232億4746万1千円	219億5356万2千円
特別会計	農業集落排水	9億1877万5千円	8億3881万6千円
	公共下水道	2億8401万1千円	2億5338万9千円
	浄化槽施設	4297万3千円	3889万9千円
	簡易水道	11億7998万3千円	6億6644万円
	上水道	25億5347万3千円	29億4289万6千円
	豊後大野市病院	26億5902万1千円	24億4158万4千円
合 計		308億8569万7千円	291億3558万6千円

基金（貯金）

一般会計・特別会計

会 計 名		29 年度末残高	30 年度末残高
一般会計	財政調整基金	61億7291万2千円	59億9143万2千円
	減 債 基 金	18億663万2千円	17億7644万6千円
	その他特定目的基金	114億3187万9千円	117億2981万7千円
	その他定額運用基金	6億8083万円	6億8083万円
特別会計	国民健康保険基金	4億5604万3千円	4億5644万5千円
	高額医療費貸付基金	500万円	500万円
	国民健康保険出産資金貸付基金	300万円	300万円
	介護給付費準備基金	5億7091万2千円	5億3647万円
	農業集落排水事業基金	839万6千円	839万6千円
	公共下水道事業基金	207万8千円	207万8千円
	浄化槽整備推進事業基金	417万5千円	458万円
	簡易水道事業基金	9222万円	9222万1千円
合 計		212億3407万7千円	212億8671万5千円

監査委員の意見
普通交付税の
特例措置もあと一年

本市の平成30年度一般会計及び8特別会計の決算については、いずれも黒字決算であった。

財政状況を客観的に表す健全化判断比率の各比率は、早期健全化基準以下であり良好な状態といえる。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.2%と、前年度に比べ2.1ポイント上昇している。

基金については、27基金で、前年度より5263万8千円増加し、212億8671万5千円となった。

自主財源比率は、基金の繰入金などで29.1%と、前年度に比べ1.4ポイント上昇しているが、依然として地方交付税を中心とした依存財源が高い割合を占めている。

普通交付税の特例措置である「合併算定替」もあと1年となる中、自主財源を

確保するために、より効果的な徴収方法の取り組みにより、収入未済額等の縮減に努めるよう望む。

地方公営企業会計については、上水道事業が4947万3千円の当年度純損失となっており、この要因は千歳簡易水道の統合による減価償却費の増加である。

病院事業は、1億4850万9千円の当年度純損失となっており、その要因は、豊肥圏内の人口減少によるものが大きい。

公営企業会計は独立採算が原則であるため、この現状を再度確認し、引き続き計画に基づいた経営の健全化に努められたい。

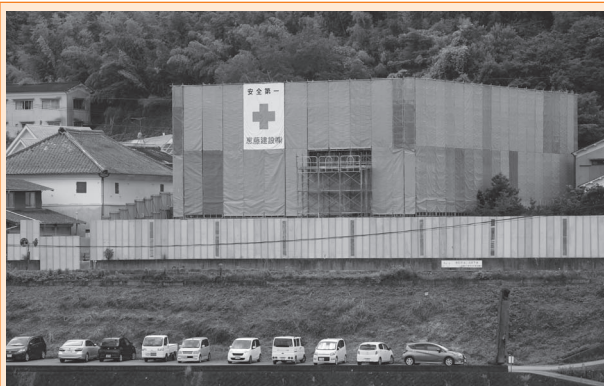
今後も財政健全化に向けた行政改革を行い、安定的な市民サービスの提供や活力あるまちづくりを目指し、持続可能な財政運営に取り組むことを希望する。



益永孝則代表監査委員

平成 30 年度に実施された事業に注目

平成 30 年度にどのような事業が実施されたか、その一部を紹介します。



清川支所、朝地支所、犬飼支所の庁舎整備が始まりました。



旧大野高校跡地を造成し宅地を分譲しました。



朝倉文夫記念公園に巨大寝ころび招き猫が制作されました。



企業誘致推進事業により、「株式会社フレッシュグルメ」が本格操業を開始しました。



市営市原住宅の第 1 期工事が実施されました。

6名の議員が市政を問う

9月6日と9日に行われた一般質問には6名の議員が登壇し、喫煙所、奨学金返還支援制度、地域医療地域振興対策など14項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

一般質問

● 首藤正光（14ページ）

- ・ 職員の喫煙所の利用について
- ・ 職員派遣について
- ・ 庁舎外のトイレを設置してはどうか

● 穴見眞児（17ページ）

- ・ 地域医療について
- ・ 神楽会館周辺整備について

● 神志那文寛（15ページ）

- ・ 奨学金の「返還支援制度」への移行について

● 田嶋栄一（18ページ）

- ・ 本年度で終了するまちづくり協議会、今後の方針は
- ・ 奨学金給付・貸付制度、移行する必要があるのか

● 川野優治（16ページ）

- ・ 人口減少社会にどう対応するのか

● 吉藤里美（19ページ）

- ・ 児童虐待をなくすため万全の支援体制を
- ・ 市役所における合理的配慮の充実を



※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

職員の喫煙所の利用について

職員の健康指導に取り組む



みつ まさ とう しゅ
光 正 藤 首

緑 政 会

質

喫煙する職員とそうでない職員との労働時間の差が生じるのでは。

答 総務課長

この喫煙所は、市役所を利用される喫煙者のために新たに設置したものです。職員についても業務上支障のない範囲での使用を認めてきたところです。

しかし公平性の観点から職員の喫煙室の利用は、勤務時間外及び休憩時間に限ることとしました。また、職員の禁煙に向けた健康指導にも取り組んでいます。

職員派遣について

法令に基づき適切に対応する



新たに設置された特定屋外喫煙場所

質

労働組合に専従で派遣しているが、いかがなものか。

答 総務課長

現在、許可しています職員については、平成30年4月1日から令和2年3月31日までの2年間を自治労大分県本部役員として専従許可を与えております。

なお、許可を受けた職員は、許可する期間は休職者となり、給与

庁舎外のトイレを設置してはどうか

新たに建設することは困難

質

早朝、市役所本庁舎前に集合・出発する各団体より、トイレがないため不便であるとの声が多く聞かれるが、設置できないか。

答 総務課長

庁舎敷地に屋外トイレを新たに設置することにつきましては、施設の統廃合による経費の削減を図っている中、建設費用や維持管理費の観点から、新たに建設することは困難であると考えています。

利用時間が深夜早朝の場合は監督署前バス停にある公衆トイレを利用いただけるよう周知してまいります。

今後におきましても、休職となることで本来の業務に影響しないかを考慮した上で、法令に基づき適切に対応してまいりたいと考えております。



こうじ なふみ ひろ
神志那文寛

日本共産党

奨学金の「返還支援制度」への移行について

本市への若者の移住定住、地元就職の促進を図る

質

現行2制度の利用が少なく、申請も減っている理由を、どのように分析しているか。

答 教育次長

平成23年に施行した「奨学金・入学準備金貸付制度」は、奨学金が2人、入学準備金も14人と、当初想定の人数に達していません。

その要因としては、平成22年度から高校無償化が始まったこと、大分県奨学会や日本学生支援機構などの奨学金制度や入学準備金制

度が充実、さらに金融機関の教育ローン等の金利が下がってきたことが挙げられます。

平成28年施行の「特別奨学金給付制度」は、4年間で28人となっています。

この制度は三重総合高校の定員を充足することを目指し取り組み

を進めてきましたが、成績優秀な生徒のほとんどが大分市や竹田市の高校を選択している現状から、本制度の趣旨が生徒や保護者に受け入れられなかったと考えています。

質

新制度の対象者を「公務員でない者」とした根拠は。

答 教育次長

この制度は、本市への若者の移住定住及び地元就職の促進を図り、もって活力ある豊後大野市を目指すため、奨学金の返還金に対し、補助金を交付するものですが、公務員については、給与と補助金といった公費の二重投資となる恐れがあること、同様の制度を実施している自治体のほとんどが公務員を対象外としていることからです。

質

「事業所に就職し雇用されている者」は「正規職員」に限定せず、非正規雇用も含めるべきでは。

答 教育次長

「事業所に就職し雇用されている者」については、雇用保険制度の対象となる週20時間以上の勤務を行う者としていたいと考えています。



三重総合高校入学式

その他の質問
国保税は子どもの均等割を免除し、子育て支援の拡充を

人口減少社会にどう対応するのか

困難であるが全力を尽くす



かわのゆうじ
川野優治

緑 政 会

質

将来の人口推計によれば、本市では2040年には4割近く減少するとされている(2015年比)。急激な人口減少は、自治体運営にも深刻な影響を及ぼす。特に懸念される市民病院と集落の運営について伺う。

答 病院事務長

豊肥医療圏の2015年に対する2040年の減少の割合は、人口が38%、医療需要が8%、それぞれ減少する見込みとなっています。このように豊肥医

療圏では人口の減少は激しいものの医療需要そのものは2030年頃まではほぼ横ばい、その後は徐々に減少していく推計となっています。

今後は、地域の人口減少に伴う医療需要の減少により当院の利用者数も徐々に減少していくことは避けられないものと想定しております。また、就労人口の減少による医療従事者確保の問題がいつそう危惧されるところです。

以上のことを踏まえ、今後の本地域の人口の推移等の状況を考えますと現在の病院の規模や機能を将来にわたり維持していくことは非常に厳しいものがありますが、当面は現在の取り組みを可能な限り継続してまいりたいと考えております。

答 まちづくり推進課長

本市では、過疎化や高齢化による人手不足により、市道等の草刈りや公民館の掃除、地区のお祭りなど、集落の共同作業が困難になっている小規模集落に対して、県と共同で小規模集落応援隊事業に取り組み、応援隊に登録していただいた地元企業やボランティア団体などを派遣し、集落の方と共同して、市道の草刈りなどのお手伝いをしていくところ です。



豊後大野市民病院

その他の質問
災害に対する備えは
万全か



あな み しん じ
穴 見 眞 児

市 民 ク ラ ブ



清川診療所

地域医療について

連携強化を図る

質

清川診療所の移転統合により、地域から医療機関がなくなることについて行政はどう捉えるか伺う。

答 市民生活課長

これまで地域医療への熱い思いの中で診療をされてきた関愛会に対し、心から感謝申し上げます。しかし今回の移転統合は関愛会の将来に向けた経営判断であり、やむを得ないと考えます。今後とも市民が安心して暮らせるよう豊後大野医師

質

会、市民病院をはじめとする他の医療機関との連携強化を図っています。

清川診療所が移転統合された場合、市民病院のサテライト的な運用の可能性は。

答 市民病院事務長

診療所に勤務する医師、看護師の確保、また事業を継続するにあたっての採算性を考えるとき、医師については常勤医師は20名で昨年度末から減員となつ

ています。看護師についても退職者や求職者の補充に苦慮しています。採算性については、運営していくには相応の利用者が必要であることと利用しやすい環境づくり等の経営努力も必要となります。加えて、診療所はかかりつけ医と利用者の信頼関係の上に成り立つものと考えます。このようなことから市民病院が安定してサテライト的に診療所を運営することは困難と考えます。

神楽会館周辺整備について

駐車区画数の確保に努める

質

神楽会館周辺の駐車場整備の計画は。

答 まちづくり推進課長

敷地内の駐車区画線の引き直し、空き地の利用さらには民間の所有地を借りて対応するなどしているが、来場者の方々には大変ご不便をかけています。

今後については、清川支所、公民館整備工事に併せて、会館南側の市有地の活用や仮設駐車場の舗装などにより駐車区画数の確保に努めます。

その他の質問

支所、神楽会館及び道の駅きよかわのエリアの賑わいの創出について

本年度で終了するまちづくり協議会、今後の方針は

サポートを続けていく



田嶋 栄一
たしま えいち

創 生 会

質

それぞれの町が自分たちの手で特色ある地域づくりを行ってきたが、本年度で終了する。今後の取り組みについて伺う。

答

総務企画統括理事

終了後も継続していく団体に対しては、市民提案型協働のまちづくり活動支援事業のほか、国や県、公益団体等の補助事業につなげるサポートを続けていきます。



清川まちづくり協議会が植樹したモミジ

質

この事業は、計画書を審査して、毎年3か所しか採択されない。まちづくり協議会は7町全町がやっていたが、内容によっては今後一切予算がもらえない町が出てくる可能性があるのでは。

答
市長

まちづくり協議会で行っている事業は植林

が多く、これらは森林環境譲与税の基金で対応できると思います。

また、国・県の補助事業を活用しながら、まちづくりをやるという方々のやる気に応えていきたいと考えております。

奨学金給付・貸付制度、移行する必要があるのか

教育環境の充実や定住促進を図る

質

当初の趣旨である定員確保とはかけ離れ、奨学金の原点である三重総合高校生を対象とした現行制度は廃止し、移住・定住を目的とした提案がなされた。あえて対象要件を変えてまで移行する必要があるのか。

答

学校教育課長

利用者が少ない、目的が達成できていないことなどから、教育環境の充実や定住へと結びつく制度へ移行したいと考えています。

質

学力向上には効果がないと嘆いて見限るより、三重総合高校に来た生徒、今、目の前にいる生徒たちが誇りを持って卒業していくような面をした方が得策ではないか。

答

教育長

頑張っている姿は全面的に評価しますし、支援は今後も惜しみなくやっていきます。



よし ふじ さと み
吉 藤 里 美

市 民 ク ラ ブ

児童虐待をなくすため 万全の支援体制を

「子育て世代包括支援センターきらきら」
の強化を図る

質

本市における児童虐待の状況は。

答 子育て支援課長

児童虐待に関する相談件数は、平成26年度に39件、27年度41件、28年度70件、29年度81件、30年度92件、そして本年度は8月末現在で既に47件の相談を受けており、相談件数は年々増加の一途をたっています。

30年度の相談内容で一番多かったのは、心理的虐待46%、次いで養育放棄によるネグレクトが34%、身体的虐待17%、性的虐待3%でした。

質

被害者については、実母が43%と最も多く、次に実父27%、両親22%の順でした。

本市の虐待事案が、児童相談所が介入するハイリスク案件とならないように、市の段階で適切な支援ができる充実した体制が必要と考えるが、現状の体制は十分か。

答 子育て支援課長

本年度から、子育て世代包括支援センターに臨床心理士を配置しています。以前からいる家庭相談員、母子父子自立支援員と共に、子育て支援課全員で子育て世代の皆様を支えています。来年度からの体制も強化していければと思います。



子育て世代包括支援
センターきらきら



相談室

市役所における合理的 配慮の充実を

障がい者が働きやすい環境づくりに努める

質

市役所の障がい者雇用率は。

答 総務課長

令和元年6月1日現在の雇用率は2・28%で、法定雇用障がい者数に0・5人不足しています。

質

どのような合理的配慮がなされているか。

答 総務課長

身体に障がいのある職員に対しては、パソコンのマウス操作を、画面で操作できるタブレットを用意したり、それぞれの特性に応じた対応に取り組んでいます。

その他の質問
選挙における投票率の
向上対策について

各議員の議案に対する賛否の状況(令和元年第3回定例会)

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 衛藤竜哉議員は議長職のため表決権はありません。

議 案 名	議 決 年 月 日	議 決 結 果	創 生 会						市 民 ク ラ ブ			緑 政 会			政 友 会			
			赤 峰 映 洋	小 野 泰 秀	宮 成 昭 義	佐 藤 辰 己	衛 藤 正 宏	田 嶋 栄 一	後 藤 雅 克	穴 見 眞 児	吉 藤 里 美	嶺 英 治	首 藤 正 光	川 野 優 治	内 田 俊 和	沓 掛 義 範	小 野 順 一	神 志 那 文 寛
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第1号）	8月30日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第2号）	8月30日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第3号）	8月30日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第4号）	8月30日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市一般会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度豊後大野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度豊後大野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度豊後大野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市上水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市印鑑条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市リバーパーク犬飼条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市奨学金返還支援基金条例の制定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市公民館条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市消防団条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度豊後大野市一般会計補正予算（第2号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算（第2号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度豊後大野市公共下水道特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算（第2号）	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会活性化委員会

令和元年8月19日～21日
愛知県犬山市議会・兵庫県小野市議会犬 山市議会では、
議会改革と市民

フリースピーチ制度について調査。議会改革については、平成22年に有志の議員と正・副議長がオブザーバーとして参加する形で「議会改革推進委員会」を設置して議会改革に取り組んだそうです。

市民フリースピーチ制度は、市民が意見を言う場を増やす目的で、前議長がアメリカの議会を参考に提案して実現したもので、市民が議場で議員に対し、市政全般について5分間自由に発言し、発言者の意見については、その後全員協議会で議員間討議を行い、必要に応じて市へ申し入れを行うことになっているそうです。その他にも「女性議会」や、「親子議場見学会」なども取り組んでいるそうです。



犬山市議会視察の様子

小 野市議会について
は、政務活動費の

廃止と開かれた議会について調査。小野市議会では、平成28年の12月定例会で、議員1人あたり年間24万円交付されていた政務活動費を平成29年度から廃止する条例を全会一致で可決。経費ありきではなく、活動方針に基づいて使うという予算執行形態の変更であり、市民目線で議会に求められている活動と、そのための経費のあり方を考える取り組みで、現在の議員の調査研究にかかる経費については、執行ガイドラインを定め、それに基づいて支出しているそうです。

行政視察や研修などは、議員自らが企画立案し、議会の承認を経て実施し、視察後は全議員が参加する報告会を開催して情報を共有しており、



小野市議会視察の様子



他市の先進事例については、市の職員も参加して、市の施策に反映できる仕組みにしています。

東京都台東区議会議員

本市を表敬訪問

8月5日、東京都台東区議会議員の皆さんが本市を訪れました。

台東区議会からは本年4月の区議会議員選挙で初当選された議員10名と議長が訪問され、朝倉文夫記念館や原尻の滝などを視察されました。

視察後は市役所内で本市議会から議長、副議長、各常任委員長、特別委員会委員長及び市長、副市長、執行部が出席し、意見交換会を行い交流を深めました。

台東区とは朝地町出身の彫塑家朝倉文夫氏のご縁で、友好都市として交流しています。



台東区議会議員(右)と本市の議員と執行部(左)



挨拶される台東区議会議員

第8回 議会報告会を開催します

議会の活動状況を知っていただくとともに、市民皆さまのご意見をお聴きするために、11月12日と13日に議会報告会を開催します。

第1部の議会報告に加え、第2部で、今回は下記のテーマを設定して意見交換をいたします。

市民皆さまのご意見をお聴かせください。

意見交換テーマ

「観光振興について」

「市政全般について」

11月12日(火) 午後7時から

場所：朝地公民館ホール（朝地町）



衛藤竜哉 佐藤辰己 首藤正光 小野泰秀 神志那文寛



内田俊和 穴見眞児 吉藤里美 後藤雅克

11月12日(火) 午後7時から

場所：犬飼公民館視聴覚室（犬飼町）



宮成昭義 衛藤正宏 小野順一 沓掛義範



赤峰映洋 川野優治 田嶋栄一 嶺英治

11月13日(水) 午後7時から

場所：緒方公民館ホール（緒方町）



衛藤竜哉 佐藤辰己 衛藤正宏 沓掛義範



内田俊和 田嶋栄一 穴見眞児 嶺英治

11月13日(水) 午後7時から

場所：市役所5階委員会室（三重町）

※手話言語通訳を行います。



宮成昭義 首藤正光 小野泰秀 小野順一 神志那文寛



赤峰映洋 川野優治 吉藤里美 後藤雅克

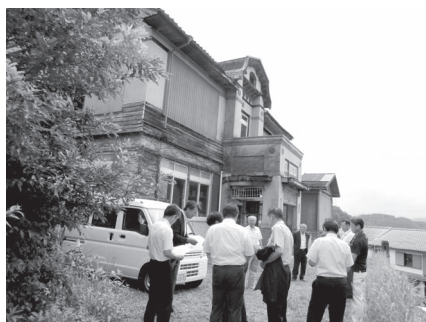
旧緒方村役場を現地調査

（厚生文教常任委員会）

7月16日、厚生文教常任委員会で旧緒方村役場の現地調査を行いました。
教育委員会より今後の方針についての説明を受けました



旧緒方村役場の内部



現地調査の様子

帰巖会と意見交換会

8月9日に社会医療法人帰巖会の皆様と厚生文教常任委員会で意見交換会を行いました。

最初に帰巖会の活動について説明を受けた後、委員との間で意見交換が行われました。この意見交換会を通じて出された意見などは今後の委員会活動の参考とさせていただきます。



意見交換会の様子

議会日誌

7月

- 2日(火) 本会議（議案質疑）
- 3日(水) 常任委員会（総務・厚生文教・産業建設）
- 9日(金) 本会議（閉会）
議会運営委員会
議会活性化委員会
議会広報編集特別委員会
- 12日(月) 議会広報編集特別委員会
- 16日(火) 総務常任委員会行政視察（岩手県遠野市）
厚生文教常任委員会現地視察
- 17日(水) 総務常任委員会行政視察（宮城県栗原市）
- 19日(金) 議会広報編集特別委員会
- 22日(月) 厚生文教常任委員会行政視察（千葉県鴨川市）

- 22日(月) 産業建設常任委員会行政視察（山口県萩市）
- 23日(火) 厚生文教常任委員会行政視察（茨城県守谷市）
- 24日(水) 産業建設常任委員会行政視察（長崎県松浦市）

8月

- 5日(月) 東京都台東区議会表敬訪問
- 6日(火) 議会広報編集特別委員会
- 9日(金) 全員協議会
厚生文教常任委員会
- 19日(月) 議会活性化委員会行政視察（愛知県大山市）
- 20日(火) 議会活性化委員会行政視察（兵庫県小野市）
- 23日(金) 議会運営委員会
- 27日(火) 議会運営委員会

- 30日(金) 本会議（議案上程）
議会広報編集特別委員会
議会活性化委員会

9月

- 6日(金) 本会議（一般質問）
- 9日(月) 本会議（一般質問）
- 12日(木) 本会議（議案質疑）
- 13日(金) 常任委員会（総務・厚生文教・産業建設）
- 17日(火) 常任委員会（総務・厚生文教・産業建設）
- 18日(水) 常任委員会（総務・厚生文教・産業建設）
- 20日(金) 決算特別委員会（特別会計）
- 24日(火) 決算特別委員会（一般会計）
- 27日(金) 本会議（閉会）
議会活性化委員会

